



KOBE BUSSAN CO., LTD.



2020年8月27日

各位

会社名 株式会社神戸物産  
 (コード番号: 3038 東証第1部)  
 代表取締役社長 沼田 博和  
 経営企画部 部長 坂本 匡浩  
 問合せ先 TEL 079-496-6610

## 月次 IR ニュース

当社の2020年7月度の個別業績についてお知らせいたします。なお、開示する実績につきましては速報値であり、監査法人による監査を受けておりませんので、四半期・本決算の数値と異なる場合は、更新時に適宜修正いたします。

記

### 1. 売上高・売上総利益・営業利益・経常利益の推移 (神戸物産単体)

#### 【売上高】

(単位: 上/百万円 下/前年比%)

11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期	
25,133	27,442	22,783	25,460	30,752	33,159	164,732	
114.8	114.3	119.5	125.2	133.7	134.8	123.9	
5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期
29,963	27,606	<b>27,863</b>					
130.0	120.6	<b>114.0</b>					

#### 【売上総利益】

(単位: 上/百万円 下/前年比%)

11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期	
2,332	2,501	2,016	2,318	2,756	2,935	14,860	
129.7	131.2	145.4	121.9	135.2	130.4	131.7	
5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期
2,691	2,402	<b>2,521</b>					
130.3	116.9	<b>116.0</b>					

#### 【営業利益】

(単位: 上/百万円 下/前年比%)

11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期	
1,500	1,723	1,279	1,559	1,885	2,042	9,991	
127.2	136.5	151.6	116.8	140.0	132.0	132.9	
5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期
1,889	1,483	<b>1,646</b>					
140.5	106.3	<b>116.8</b>					

#### 【経常利益】

(単位: 上/百万円 下/前年比%)

11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期	
1,593	1,763	1,268	1,665	1,928	2,064	10,283	
131.3	155.2	204.1	105.9	135.7	121.2	134.1	
5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期
1,954	1,559	<b>1,328</b>					
153.9	115.9	<b>88.8</b>					

2. 業務スーパー月次出店数

		11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期		
直轄エリア	出店数	4	2	1	4	4	3	18		
	退店数	1	0	1	0	4	0	6		
	店舗数	508	510	510	514	514	517	+12		
地方エリア	出店数	1	1	0	1	1	3	7		
	退店数	1	0	0	0	1	0	2		
	店舗数	338	339	339	340	340	343	+5		
FC店舗数合計		846	849	849	854	854	860	—		
直営店舗数合計		2	2	2	2	2	2	—		
総店舗数		848	851	851	856	856	862	+17		
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期	
直轄エリア	出店数	3	2	3						
	退店数	0	3	1						
	店舗数	520	519	521						
地方エリア	出店数	0	2	1						
	退店数	0	2	1						
	店舗数	343	343	343						
FC店舗数合計		863	862	864						
直営店舗数合計		2	2	2						
総店舗数		865	864	866						

■直轄エリア： 【関東】 東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県

【関西】 大阪府・京都府・兵庫県(淡路島を除く)・奈良県・和歌山県・滋賀県

【九州】 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県

【その他】 北海道

■地方エリア： 上記以外の県

【出店一覧】

店名	住所
<b>【直轄エリア】</b>	—
平成店	熊本市南区平成 2-2-22
大畑店	大阪府高槻市大畑町 27-8
昭島店	東京都昭島市中神町 1-23-20
<b>【地方エリア】</b>	—
エブリー緑井店	広島市安佐南区緑井 6-1-14

3. 当社から「業務スーパー」店舗への商品出荷実績(前年比)

(単位：%)

		11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期		
直轄エリア	既存店	110.9	110.4	113.6	119.6	128.6	131.0	119.3		
	全店	115.4	114.1	117.7	124.4	135.0	137.7	124.3		
全国*	全店	115.9	115.1	119.8	124.9	135.8	136.6	125.0		
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期	
直轄エリア	既存店	124.1	115.8	108.4						
	全店	130.9	121.1	113.1						
全国*	全店	131.1	122.6	114.3						

\*全国は直轄エリア+地方エリア店舗への商品出荷実績となります。

#### 4. 概況

2020年7月度における月次業績につきましては、個別売上高は前年同期比**114.0%**の**278億63百万円**、売上総利益は同**116.0%**の**25億21百万円**、営業利益は同**116.8%**の**16億46百万円**、経常利益は同**88.8%**の**13億28百万円**となりました。

7月度の業務スーパーの出店状況につきましては、新規出店が4店舗あったことで店舗数は866店舗となり、前年同期比では33店舗増加いたしました。

また、直轄エリア既存店への商品出荷実績は前年同期比**108.4%**、直轄エリア全店への商品出荷実績は同**113.1%**、全国全店への商品出荷実績は同**114.3%**となり、堅調に推移しております。これらにより売上高が増加いたしました。

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言解除後、商品出荷においては徐々に落ち着きを見せているものの、引き続き前年実績を上回っております。

経常利益につきましては、前年同月は円安に進んだため為替差益等が発生していましたが、当月は円高が進んだことにより為替差損等が計上されたため、前年実績を大きく下回りました。しかしながら、円高による営業外損失への影響は一過性のもので限定的であると考えており、長期化した場合は輸入品の仕入れコスト低減に繋がるものと考えております。

商品動向につきましては、青果の価格高騰を受け、「揚げなす乱切り」をはじめとした冷凍野菜が好調だったほか、国内グループ工場で製造している「徳用ウインナー」「ポテトサラダ」なども好調で、売上に貢献いたしました。

また、当社は9月1日より10月31日までの2ヶ月間、日頃のご愛顧に感謝して「業務スーパー20周年決算セール」を開催いたします。

テレワークの定着化など在宅時間の増加等により、引き続き内食需要の高い状態が続く中で、当社のオリジナル商品を始めとする魅力ある商品をベストプライスで提供してまいります。

なお、セールの概要は業務スーパーWEBサイト (<https://www.gyomusuper.jp/sale/>) で公開しております。

当社は、業務スーパーをはじめとする各業態を安心してご利用いただけますよう、お客様、従業員の安全を第一に考え、コロナ禍を全従業員一丸となって乗り切っております。また、この度の新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

以上